

2022

March

令和四年

# AP

## 100 Years and Beyond

### COMMUNICATION

株式会社アピックス 社外報



特集

「応えられる」プロフェッショナル集団を目指して

# 「応えられる」プロフェッショナル集団を目指して

お客様のサービスレベルに応えられる企業であり続けるべく、72期より組織体制もあらたにスタート致しました。今号は、各部門長の右腕であり現場責任者である6名（新任3名）のマネージャーを紹介いたします。



第一営業部（大阪）  
マネージャー

前田 拓哉

## 令和時代の営業組織の"あるべき姿"とは？

第一営業部の前田と申します。私の考える令和の営業組織とは、従来の個人プレーが中心の組織ではなく、共通の目標に向い推進できる組織が“あるべき姿”ではないかと考えています。そのため、営業部員の一人ひとりが組織の共通目標を認識し、それを達成する為に、他のメンバーとコミュニケーションを取りながら協力して活動できる体制を作りたいと思っています。

営業組織に明確な目標があり、営業部員全員がそれを認識している事、全てのメンバーが互いに協力しあう風土の醸成、コミュニケーションの円滑化、CRM ツールを使った営業ナレッジの共用等を進めております。各個人に依存する組織ではなく、組織内の全てのメンバーがコミュニケーションを取りながら、協力して1つの目標を達成する組織を作る事が重要となります。

営業組織があるべき姿になる事で、仕事へのモチベーションや生産性が向上し、売上目標の達成を実現する事が理想的な形になりますので、引き続きこれらの推進に取り組んで参ります。



カスタマーリレーション部  
マネージャー

山本 光容

## 「あなたで良かった」が未来をつくる

今期よりカスタマーリレーション部のマネージャーを務めさせて頂いております、山本光容です。平素は大変お世話になっております。

私は誰かにしかできない仕事は無いと思いますが、あなたで良かったと言って頂ける仕事はできると考えています。当社社員のひとり一人がお客様にそう感じて頂ける組織（チーム）でありたいと思います。笑顔が絶えないチームは、顧客満足度が高い傾向にあります。自身の役割を理解して活き活きと仕事をし、お客様に寄り添い、役に立ちたいというモチベーションが顔に表れる為です。それが信頼につながり「あなたで良かった」と言ってもらえる関係が醸成されていくのだと思います。その継続が私たちアピックスを選択し続けてもらえることに繋がると信じています。メンバーひとり一人がパフォーマンスを発揮出来るよう個々の特性を理解し、やりがいを持ってお客様とコミュニケーションが取れるようサポートしていきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。



プロダクションマネジメント部  
マネージャー

仲間 勝徳

## 制作からマネジメントへ

72期開始より、『大阪制作部』が『プロダクションマネジメント部』へと体制・名称が変わりました。部長・マネージャーも刷新され、若輩ながら私がマネージャーを務める事となりました。部門としての役割も『制作する事』から『制作したものを管理する事』への変化を期待しての名称変更だと自分では捉えております。『モノを作る』事に変わりはないのですが、『制作部=物を作る部門』だけではなく、製品を管理するという事は自分たちが作るモノの『品質』・『価格』・『時間』いわゆる QCD に対して、これまで以上の意識を求められているのだと感じる次第です。それこそが『制作部』から『プロダクションマネジメント部』へ変わった意義だと思っております。

新任マネージャーの私にどこまで出来るのかは分かりませんが、頼れるリーダー達を筆頭に部門のメンバーと共に、モノづくりを盛り立てていければと思っております。

# GROWTH



第一営業部（東京）  
マネージャー

新川 由樹

## リモート時代に最適なお提案ができるよう 「第一営業部、動きます」

Web 会議を中心とした面談を重ね、お客様のニーズにお応えすべく、東京第一営業部は日々奮闘しております。当部門のミッションの一つには「若手社員の育成」もありますので、部下の教育にも力を入れておりますが、私自身、企画部門から営業部のマネージャーに着任して一年足らず、まだまだ部下と共に学ぶことも多く、努力を怠ることができません。さて、一昨年のパンデミック以降、世の中が急速にテレワーク中心の働き方へ変わったことは周知の事実です。以前にも増してペーパーレス化が求められている状況の中、弊社も紙文書の電子化のご依頼、ご相談を多くいただいております。弊社では、電子化作業でのお役立ちはもちろん、文書の最適な保管、運用、廃棄ルール等のコンサルも含めた「文書情報マネジメントサービス」として、お客様の課題解決に向けたご提案も行っています。「業務効率化をしたいけど…アピックスに相談してみよう」、そう思っていただけで日々の精進して参ります。



カスタマーリレーション部  
マネージャー

三木 幸美

## リレーションシップの向上を目指して！

2019年にアピックスへ入社してから2年半が経ちました。貴重な経験をさせていただくなか直近2年間はコロナ禍により顧客だけでなく社会規模で様々な意識改革を求められた期間でもありました。もちろんコロナ禍の影響は継続していますが、リモートワークの導入や紙媒体のワークフローの電子化移行が一気に加速し、それに伴い働き方もサイトごとに多様化しています。これまで対面的に行っていた環境下でのマネジメントとは異なりコミュニケーション方法など多くの課題を日々模索しています。現在、出社と在宅を併用する勤務形態やオンライン会議と柔軟な対応で業務を遂行できているのも皆さまのお力添えがあったからと感謝しております。これからも想定外の出来事は起こると思いますが、お客様と実務担当者間の良好なリレーション向上を目指して柔軟な思考と細やかな気配りでサポートに努めてまいります。



プロダクションマネジメント部  
マネージャー

佐野 光治

## プロフェッショナル集団を目指して

72期から、東京のプロダクションマネジメント部（以下東京 PM 部）のマネージャーを務めることになりました。責任ある立場を任されるようになり、より一層精進していきたいと思っております。また、72期からは部門名称も変更され、さらには業務内容も東阪で選別されたことにより、東京 PM 部は安全性情報送付業務に特化したチーム作りが求められるようになってきました。安全性情報業務に関して経験豊富なスタッフを中心に、東京 PM 部全体で知識を共有し、より高いレベルでのサービスを提供できるよう目指して行きます。昨今の情勢によりスタッフの働き方につきましても変化が求められる中、あらゆる事態を想定し、「高い品質を保ち、業務を止めない」ことを目的とし DX を推進させ、テレワークなど、今まで現場作業では不可能とされていたことにも挑戦していきたいと思っております。一層の飛躍できるよう東京 PM 部一同努めてまいりますので、今後も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

## 「100Y & 102Y」コロナ禍の周年に想う

代表取締役社長 河村 武敏



古門社長とモトヤ社長室にて

コロナ禍が始まり約2年の歳月が経過、今はなんとオミクロン株による第六波のまっただ中で、まだまだ戦いは続く状況です。そのような中ですが、先日おめでたくもうれしいご来訪がありました。弊社も大変お世話になっている印刷商社のモトヤ様からです。

モトヤ様は2022年2月11日に「創業100周年」をお迎えになられる企業で、社長様と担当役員でごあいさつに回っていらっしやるとの事。

モトヤ様とは大変御縁が深い企業で、多くの共通点があります（下記以外にもあります…）

- 1 大阪本社が、お互いに徒歩5分の場所に所在している
- 2 東京・大阪を中心に商売を展開されており、長い取引関係である
- 3 某銀行の会でも、よくご一緒させていただく
- 4 スコアはともかく!、同じ所属ゴルフクラブの大先輩である
- 5 創業年が近く、同じ2月の創業月である
- 6 同じ印刷関連業界に所属している
- 7 社長が現役で、仕事もゴルフもエネルギーである!!



モトヤ様  
100周年記念ロゴ



アピックス  
100周年記念ロゴ

※7は自分で言うのもおこがましいのですが、モトヤ古門社長様はそのものズバリです。

アピックスも、2年前の2020年2月8日に100周年を迎えたことを思い出します。

社員と共に「薯蕷饅頭」でお祝いをし、その年の年末に「感謝の集い」を大阪・東京で計画をしていたのですが、同年4月からの緊急事態宣言などですべて中止になり現在に至ります。関係取引先の皆様には感謝のメッセージの発信にとどまり、大変残念な気持ちでその年を過ごしました。

モトヤ様ともお話をした中で「感謝の集い」を行う企画もあったそうですが、大変悩まれた結果、昨今のご時世から「集合」形式ではなく、「訪問」形式のご挨拶にされたとお伺いしました。

時代背景やデジタル技術の革新は変化の一途ですが、「創業100周年」は一つの節目であり、モトヤ様は「顧客と共に栄える」をモットーに、アピックスは「BPO サービス業として、お客様ならび社会の発展に寄与する」をモットーに、お客様を中心に今後もお互いに共創の関係を築いていければと改めて強く感じています。この度は誠におめでとうございます。

## Webセミナー開催のお知らせ

製薬メーカー様・CRO 様必見!!

治験資材や安全性報告書類の制作・配送を  
サポートするサービスと事例紹介

3月16日[水] 15:00 ~ 16:00

プログラム1 治験資材制作サービスの概要 (25分)

プログラム2 安全性情報の作成および一括発送・配信サービス ~事例紹介~ (25分)



お申込みはこちらから!



<http://www.apix.co.jp/seminar/202203/202203.html>

## 株式会社アピックス

本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2  
TEL:06-6271-7291 FAX:06-6271-7296

東京支店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14 OZAWAビル3F E-mail info@apix.co.jp  
TEL:03-5879-7291 FAX:03-5879-7296 URL <http://www.apix.co.jp>